平　晋一郎

未来の子どもへ美しい川を残し生態系を崩さないようにする為に、
私たちに何が出来るか考えてみませんか？

Save The Kikuti River

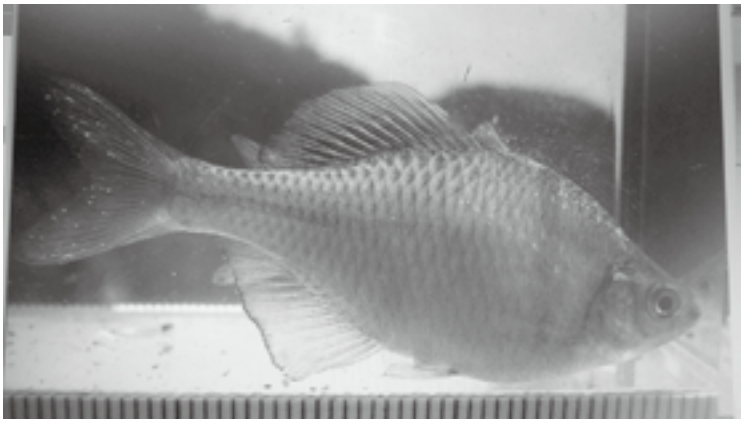
昔から菊池川水系で大変親しまれていましたが、今では珍しくなったシビンチヤという魚がいます。シビンチヤといってもタナゴ類をみんな含めて菊池川水系ではシビンチヤといっているようです（緑川水系ではシビンタ）。日本では十五種類のタナゴ類が確認され、そのうち八割が熊本県に分布しています。菊池川水系に生息しているのはニッポンバラタナゴ、カゼトゲタナゴ、ヤリタナゴ、カネヒラ等と思います。

体長三～八センチくらいで体高が高く、平たい形をしています。タナゴ類は分類上はコイ目コイ科タナゴ類に属しますが、普通の魚と違った産卵習性を持った不思議な魚です。繁殖期になると雄の体はオイカワやカワムツの雄と同じように婚姻色で彩られ、雌は産卵管を伸ばして、これを生きた二枚貝（カラスガイ、イシガイなど）の出水管に差込、えらの中に卵を産み付けます。雄は入水管口近くで放精するので受精は貝の内部で行われます。四～八月頃産卵し一ヶ月で孵化し、二年数ヶ月で成魚になります。

ニッポンバラタナゴの雄の婚姻色は特に美しく、目の横あたりから胸鰭の下まで朱色に代わり、背には暗緑色で帯状の縦縞があります。水槽などで飼っていると熱帯魚ではないかと聞かれることもあるくらいです。「シビンチヤ」という名前がちょっと変わっていますが、熊本県では横っ面の頬のことを「ビンタ」といいます。「びんたが朱色」つまり「しゅびんた」が訛って「シビンチヤ」になったんだと元玉名歴史博物館長の故田辺哲夫氏から聞いたことがありますがなるほどと思いました。

以前は菊池川本流でも支流でもちょっとした澱みの砂泥地に藻が生えていればたいていそこにはシビンチヤが居たので、そういう意味ではあまり価値のある魚ではありませんでした。しかし、最近は河川・用水路の工事や工場・生活排水、農薬、ゴルフ場の開発等による水質汚染のため、淡水の二枚貝が減少し、それにつれてタナゴ類も激減しました。もともとはシビンチヤといえばニッポンバラタナゴのことを指していたような気がしますが、外来種との交雑が容易なため、純粋なニッポンバラタナゴは極端に減ったようです。

飼育する場合はアカムシ、ミミズ、ミジンコなどをやります。在来種との交雑予防のためペットとして他所から持ち込んだものを絶対川に逃がしてはなりません。タナゴ類は全体として稀少類に指定してありますが、ニッポンバラタナゴだけは特に環境省のレッドデーターブックの絶滅危惧種として選定されています。



▲シビンチヤ

篠笛工房「山彦」

ぐるっと 肥後民家村

肥後民家村には、昔ながらの古民家のたたずまいが四季折々の草花と融和し、訪れる観光客の人たちに「癒し」と「感動」を与えています。そして、篠笛の音色もまたそのひとつ。

どこからか聞こえてくる笛の音。その音は、旧中原家蔵にある篠笛工房「山彦」から聞こえてきます。そこの主の高原さんは、3年ほど前に、小林美術館での篠笛コンサートをきっかけに、肥後民家村の魅力にひかれて篠笛工房を始められました。

高原さんは、日本全国を公演している劇団「わらび座」という民族芸能の団体に30年ほど所属されていましたので、民舞等もされています。今年で、2回目の開催となった「新春コンサート 篠笛と民舞の夕べ」では、「笛吹き童子」「月の砂漠」「荒城の月」などの篠笛の演奏に加えて、「花笠音頭」「百姓踊り」などの民舞など、ひとりで何役も兼ねて開催されました。「来ていただいたお客様から『感動した』というお言葉をいただき、うれしい限りです」と、確かな手ごたえを感じ取っていらっしゃるようです。

今年の5月には、高原さんが発起人となり「肥後篠笛愛好会」が設立されました。この愛好会は、県内各地の篠笛愛好家の方たちで組織されています。

「熊本県は、芸能や和太鼓、笛の愛好者の方が多いところです。一人ひとりが、それぞれに努力し活動されていますが、後継者問題などで年々その数は、減少傾向にあります。一人ぼっちの笛吹きをなくして、みんなで上手になっていこう、仲間を増やしていこう、という思いで設立しました」。

笛職人

高原 正義 さん

「和水町には、13の地区に神楽が残っています。以前は、まだあったと聞きますが、これだけの神楽が残っている地域はありません」。神楽の話を熱心に話される高原さん。

「笛の音の聞こえる里づくりができたら素敵だと思います。それが私の夢です。日本人が日本の文化を大切にする里づくりの手助けができればと思っています」と、語られたとき、まさに神楽が『笛の音の聞こえる里づくり』なのだと感じました。

肥後民家村を拠点に、夢の実現が進んでいます。

篠笛教室

毎週土曜日　午後3時から4時30分まで（初級）。
受講料（1回毎）大人2，000円～　小中学生1，500円～
営業日　木曜日から日曜日
営業時間　午前10時から午後4時30分まで
問い合わせ先
090・7061・3213（高原まで）